

戦争の暗雲 払った

ムンジェイン
文在寅・韓国大統領

6.12合意（米朝共同声明）は、地上最後の冷戦を解体した世界史的な事件として記憶されるでしょう。（6月12日の談話）



朝鮮半島に立ち込めていた戦争の暗雲をついに払いのけ北朝鮮問題の解決と恒久平和への力強い歩みを本格的に踏み出せるようになりました。…会談には多様な評価がありますが、米日韓をはじめ世界の人々を戦争と核・ミサイルの脅威から抜け出させたこと以上に重要な外交的成果はないでしょう。（6月14日の国家安全保障会議での発言）

6月12日、シンガポールのカペラホテルでの会談に臨む米朝首脳。6月12日放映NHKテレビより



世界で力をあわせよう

朝鮮半島の平和体制構築と非核化で合意した米朝首脳会談（6月12日）について、“具体性に乏しい”など懐疑的・悲観的な見方があります。しかしこれは会談の歴史的意義を見誤ったものです。

●粘り強く協力を

米朝は長期にわたって敵対し、相互不信も強い国同士。1回きりの会談で一挙に解決することは、無理です。関係国・国際社会が平和のプロセスを促進し、困難であつても粘り強く協力していく姿勢が重要です。

●簡単に逆戻りできない

6カ国協議の共同声明など、これまでの合意は大使級や次官級・局長級の合意でした。今回の会談は、歴史上はじめての首脳間の合意であり、簡単には逆戻りできない重みのある合意です。

●9条改憲の根拠は崩壊

平和のプロセスが成功すれば「北朝鮮の脅威」を口実に安倍首相が進めてきた沖縄・辺野古新基地建設や憲法9条改定の根拠は崩壊します。

朝鮮半島の非核化へ

日本共産党

9条まもろう ストップ安倍改憲

首相が書き込むのは

災害救助の自衛隊でなく

9条改憲に異常な執念を燃やす安倍首相。首相が9条に明記しようとする自衛隊は、災害救助に汗を流す自衛隊ではありません。

安保法制によって集団的自衛権を行使し、長距離巡航ミサイルや空母を持ち、専守防衛をかなぐり捨てた自衛隊。「日報」を隠ぺいし、国民に選挙で選ばれた国会議員を「国民の敵だ」と罵倒する自衛隊です。

9条改憲で、「海外で戦争する軍隊」への変質を許してはなりません。

憲法9条生かした平和外交を

安倍首相は北朝鮮の「脅威」をあおりつつ9条改憲の必要性と軍事力強化を叫んできました。しかし朝鮮半島で平和の激動が起こり、

対話否定・圧力一辺倒の安倍路線は破綻しました。いま日本政府に求められるのは憲法9条を生かした平和外交です。

海外で戦争する軍隊